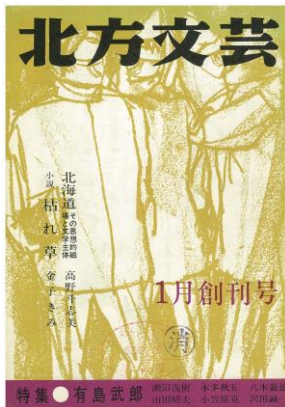


鷺田小彌太講演会

1967年、北海道文学館の創立、そして北海道新聞文学賞誕生とともに、北の大地の文学運動をさらに強固なものとするため1冊の文学雑誌の準備が開始した。「北方文芸」である。翌年1月の創刊号以来、1997年まで月刊で通巻350号が刊行された。卓抜な特集記事、優秀な文学者の輩出など多くの成果を残した。「北方文芸」とは何であったのか。編集長を務めた1人、哲学者の鷺田小彌太さんが語ります。



わじだ・こやた 元「北方文芸」編集人、札幌大学元教授。

1942年3月13日、札幌市生まれ。札幌南高校、大阪大学文学部哲学科卒業。同大学院博士課程満期中退。75年三重大学講師、同教授を経て、83年札幌大学教授（哲学・倫理学）。2012年退職。

著書に『ヘーゲル「法哲学」研究序論』『書評の同時代史』『昭和思想史60年』『昭和の思想家67人』『大学教授になる方法』『日本人の哲学』（全5巻）など多数。

「北方文芸」とは 何であつたか

■ とき

2017年

7月2日(日)

14:00-15:30 (開場 13:30)

■ ところ

北海道立文学館 地階講堂

■ 申込方法

往復はがきにて6月17日(土)まで
定員80名 入場無料

問い合わせ 011-511-7655

■ 展覧会のご案内

「北海道文学館」創立50周年記念特別展
「北方文芸」と道内文学同人誌の光芒

2017年7月1日(土) - 8月27日(日)

開館時間: 9:30~17:00 (入場は16:30まで)

休館日: 月曜日

観覧料: 一般 500(400)円、高大生 250(200)円

()内は10名以上の団体料金、中学生以下、65歳以上無料



中島公園

北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

Tel 011-511-7655 <http://www.h-bungaku.or.jp>